

小郡市環境保全協議会から寄附金贈呈

2.25
wed



小郡市環境保全協議会(会長 柴田裕司さん)から県指定天然記念物である將軍藤(福童)とその他文化財の保存・活用のため、55万円の寄附金をいただきました。

同協議会は、市内の造園、植木、土木、建築の60事業者で構成され、市水防計画との連携や宝満川一斉清掃への参加などボランティア活動に取り組まれています。(ア)

(ㇿ)柴田会長は、「加盟する事業者が、それぞれの事業を通じて小郡市のまちづくりに貢献していきたい」と話されました。

また、3月1日、雨天の中で行われた將軍藤の枝剪定作業は、地元の將軍藤保存会や商工会、同協議会造園・植木部会会員など約50人が参加しました。

毎年、多くの花見客が訪れる將軍藤まつりは、4月中旬から5月上旬に開催される予定です。



西島老人クラブ 防災・防火勉強会

2.13
fri

小郡警察署と三井消防署から講師を招き、犯罪や災害の被害を受けやすい高齢者のための勉強会が西島公民館で行われました。

「二重電話詐欺」や「火の不始末による火災」など、高齢者に多い事件や事故の事例を中心とした講話が行われました。

参加者は、熱心に説明を聞き、犯罪や災害にあわないための心構えを学びました。



福岡県健康運動実践グループ奨励賞受賞

三国が丘1区 いきいき体操クラブ

2.20
fri

三国が丘1区いきいき体操クラブ(代表 谷下聖子さん)が、健康運動による健康づくりの推進に尽力していることを称えた、福岡県健康運動実践グループ奨励賞を受賞したことを平安市長に報告しました。

今年で活動8年目となる同クラブは、50代から80代までの33人で毎週1回、「小郡市健康体操」やラジオ体操、ダンベルを使った体操などの健康づくりを続けられています。

同クラブの皆さんは、「今後も笑って楽しめる健康クラブにしていきたい」と話されました。





3.12
thu

次は世界へ！

全日本きもの装いコンテスト 九州大会子どもの部優勝

小郡小6年の入口あゆさんが、昨年12月に福岡市で開催された「全日本きもの装いコンテスト九州大会」の子どもの部で優勝し、平安市長に報告しました。

大会では、鏡のない舞台上、一人でいかに着物を美しく着ることができるかだけでなく、言葉遣いや立ち振る舞いなども含めて審査が行われます。

入口さんは、小学3年生のときに伝統文化の体験教室に参加したことがきっかけで着物の着付けを始め、毎日練習を欠かさず行っています。今では7、8分で着ることができるそうです。

4月には、東京で世界大会が開催されるということで、意気込みを聞いたところ、「優勝を目指します！」と、力強く宣言されました。

166年の時を超えて

中油屋開門式

3.8
sun

市指定有形文化財旧松崎旅籠油屋のうち座敷にあたる「中油屋」の開門式が行われました。

「中油屋」は、老朽化のため平成24年に一度解体され、2年をかけて修理が行われていました。今回の復原により、江戸時代(1849年)に建てられた最初の姿になりました。

開門式典後には一般公開され、当日は約325人が見学に訪れました。創建当初の姿を取り戻した「中油屋」に、見学者は口々に感嘆の声をあげていました。

また、相川理沙さんのアコースティックライブや開門記念ひなあられ販売、豚汁の無料配布なども行われ、訪れた見学者を楽しませました。



地域の歴史を伝える貴重な財産

松岡家住宅が 国の登録有形文化財へ

3.13
fri

干潟にある松岡家住宅主屋ほか4棟(倉庫、玄関門、門柱、塀)が、国の登録有形文化財に登録されることとなりました。

松岡家住宅主屋は、大正12年に酒造業者の邸宅として建てられ、倉庫は酒蔵で働く従業員の食堂と釜屋に利用されていました。現在は、創作懐石料理店「とびうめ」として営まれています。(ア)

(イ) 松岡家住宅は、主屋や北側倉庫など、酒造に関連した施設の一部分が良好に保存されていることなどが評価されて、今回の登録に至りました。平成24年7月に北側倉庫を含む主屋と門が市の登録有形文化財に登録されましたが、今回は新たに塀と門柱を加えての登録となります。

また、3月17日に「とびうめ」店主の松岡倫章さんが市長のもとを訪れ、国指定登録有形文化財となることを報告しました。松岡さんは「国の指定となることで、改めて、後世へ守り伝えていくことへの責任の重さを感じている」と話されました。



▲市長に報告する松岡倫章さん(左)